

平成30年度 学校総合体育大会  
兼 全国高等学校総合体育大会（バドミントン競技）県予選会  
実施要項

1. 主催 埼玉県教育委員会・埼玉県学校体育協会
2. 主管 埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部
3. 後援 公益財団法人 埼玉県体育協会
4. 期 日 平成30年6月15日（金）・16日（土）・17日（日）・18日（月）8時30分開場  
【6月15日 準備終了後、開会式、競技開始9時15分（予定）  
学校対抗1回戦～決勝】  
【6月16日 競技開始9時00分（予定） 複1回戦～決勝リーグ】  
【6月17日 競技開始9時00分（予定） 複決勝リーグ、単1回戦～4回戦】  
【6月18日 競技開始9時00分（予定） 単5回戦から決勝リーグ戦  
競技終了後閉会式】
5. 会 場 上尾運動公園体育館 【Tel 048-771-4245】
6. 種 目 学校対抗（男・女 各団体戦） 個人対抗（男・女 各個人戦 単・複）
7. 競技規則 (1) 平成30年度 公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程による。  
(2) 平成30年度 公益財団法人日本バドミントン協会検定・審査合格用器具並びに第1種検定合格水鳥球を使用する。（シャトルは、各校持ち寄りとする。）
8. 競技方法 (1) 学校対抗 ① トーナメント戦方式による。ただし、3位決定戦は行なわない。  
② 複2組・単3名で行ない、試合順序は複1・複2・単1・単2・単3で実施する。  
なお、単1出場者以外は、単・複を兼ねて出場することができる。  
③ 対抗戦は、3マッチ先取とする。  
④ 監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は大会初日8：45までとし大会本部に所定の変更届け出用紙で提出すること。それ以後の変更は、いかなる場合も認めない。  
(2) 個人対抗 ① 単・複を行ない、いずれも予選トーナメント戦方式及びベスト4による代表決定リーグ戦方式とする。  
② 選手の変更は、いかなる場合も認めない。
9. 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒で、埼玉県高等学校体育連盟に加盟し、県大会の参加資格を得た者とする。ただし、休学中、留学中の生徒を除く。  
(2) 監督・コーチ・マネージャー・選手は、（公財）日本バドミントン協会に平成30年5月25日（金）までに会員登録を完了した者とする。  
(3) 年齢は、平成11年4月2日以降に生まれた者でもものとする。ただし、出場は同一競技3回までと

し、同一学年での出場は1回限りとする。

① 学校対抗は、男女とも関東大会県予選会1～8位入賞校。

② 個人対抗は、男女とも新人大会県大会16位以上入賞者及び学校総合体育大会（全国高校総合体育大会県予選会）地区予選会16位～18位（東部・西部・南部18位、北部16位）以上入賞者。

個人対抗においては、1校の出場者数の上限を単10名・複7組とする。

(4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

ただし、全日制・定時制I部の混成チームとして認められた競技はこの限りではない。

(5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。

(6) 転校後6ヶ月未満の者は、参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）

但し一家転住等やむを得ない場合は、埼玉県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。

(7) 参加する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する校長の承認を必要とする。

(8) 参加資格の特例

ア. 上記9(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により本大会参加資格を満たすと判断され、埼玉県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ. 上記9(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

#### 【大会参加資格の別途に定める規定】

1. 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、埼玉県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2. 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

ア. (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。

イ. 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ. 各学校にあっては、埼玉県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ. 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア. 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ. 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

10. 参加制限
- (1) 学校対抗
- ア. チーム編成は、1校1チームとし、監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手5名以上7名以内とする。また、5名を欠いた場合は、チームとして認めない。(同一校で男女出場する場合はそれぞれに別の監督をつけること。) マネージャーは当該校の職員または生徒とする。
- イ. 外国人留学生の参加について、申し込みは2名以内とし、1対抗戦の出場は、その出場人数出場(1名又は2名)にかかわらず、1試合とする。
- (2) 個人対抗 単・複とも監督1名とし、複の選手は同一校選手であること。
- (3) 引率・監督
- ア. 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。  
引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- イ. 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の教員又は部活動指導員とする。  
(部活動指導員とは、学校教育法施行規則78条の2に示されている者で、学校設置者により任用されている者をいう。)
- ウ. 監督、コーチは、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。
11. 申し込み 所定の大会参加申込み書に記入・捺印の上、平成30年5月25日(金)【必着】までに、県立栗橋北彩高等学校 矢島 貴夫【〒349-1121 久喜市伊坂1番地】宛に申し込むこと。【申し込みの際には、『全国大会県予選会 参加申込み書 在中』と朱書する。】  
※個人情報の取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
12. 表彰 優勝校・者に優勝杯(持ち回り)と賞状を、2～4位入賞校・者に賞状を授与する。  
バッチを1位・2位入賞校・者に授与する。
13. 組合せ (1) 平成30年6月5日(火) 9時30分～ スポーツ総合センターで行なう。  
(2) 学校対抗・個人対抗ともに埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員会の責任において行なう。
14. 試合進行等 (1) すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。各ゲームの間に、120秒を超えないインターバルを認める。  
(2) 学校対抗
- ① 試合進行等の遅れにより、並行して行なう場合がある。  
② 並行して試合を行なう場合、複と単に同一選手が出場する時は10分間の間隔を与える。  
③ 同一校が連続して試合を行なう場合には、前試合が終了後15分間の間隔をおいてから次試合を始める。
- 個人対抗
- ① 同一選手が連続して試合を行なう場合には、前試合が終了後15分間の間隔をおいてから次試合を始める。  
② 棄権した者は、それよりあとの他の種目すべてにおいて出場できない。  
③ 代表決定リーグ戦の順位決定は、(1)勝敗(2)得失ゲーム差(3)総得失点差(4)【(1)～(3)までで2名・組が残った時】該当者どうしの勝敗【(1)～(3)までで3名・組が残った時】該当者どうしの中で(1)～(3)の順にもどって行なう。

(3) 練習時間 それぞれ試合前に下記のようなことで行なう。

- |     |         |     |                                    |
|-----|---------|-----|------------------------------------|
| 1日目 | 学校対抗    | 出場者 | 対抗戦各試合前に2分間行なう。                    |
| 2日目 | 個人対抗(複) | 出場者 | 1～2回戦のみ2分間ずつ行なう。<br>リーグ戦は2分間ずつ行なう。 |
| 3日目 | 個人対抗(単) | 出場者 | 1～2回戦のみ2分間ずつ行なう。<br>リーグ戦は2分間ずつ行なう。 |
| 4日目 | 個人対抗(単) | 出場者 | 競技開始前全体で10分間行なう。<br>リーグ戦は2分間ずつ行なう。 |

15. 連絡事項
- (1) 競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア、シューズを着用すること。色付きの着衣を使用する場合及びシューズは、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。
  - (2) ①出場選手は、上衣の背中中央に必ず高等学校名及び都道府県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。「上段・・学校名(やや大きく)、下段・・都道府県名」判別しにくいものについては、ゼッケンを使用してもらう場合がある。  
②ゼッケンを使用する場合は、白色の布地で縦15cm、横30cmの大きさを基準とする。(ゼッケン使用の場合、文字の色は黒色又は濃紺色とする。)
  - (3) 敗者審判制で行なう。
  - (4) マッチ中の水分補給は認めますが、必ず主審の許可を得ること。また、容器は倒れてもこぼれない容器を使用し、主審横の指定した入れ物に入れること。フロア内へのクーラーボックスの持ち込みは禁止とします。氷嚢はクーラーバックに入れてベンチで保管すること。
  - (5) ① 今大会での学校対抗優勝校は、平成30年度全国高等学校総合体育大会に出場できる。  
② 今大会での個人対抗(単・複)1～2位入賞者は、平成30年度全国高等学校総合体育大会に出場できる。ただし、外国人留学生の出場は、各都道府県ともに男子1複・1単、女子1複・1単以内である。
  - (6) 今大会での個人対抗(単・複)ベスト32位入賞者は、平成30年度新人大会県大会へ地区予選会を経ずに出場できる。
  - (7) 今大会での個人対抗(単・複)ベスト32位入賞者は、平成30年度全日本ジュニア選手権大会埼玉県予選会に出場できる。
  - (8) 当該校引率責任者は、毎朝必ず受付(本部席)のこと。(第1日目は開会式開始前に行なう)
  - (9) 当該校引率責任者は、開会式に参列すること。
  - (10) 開会式に参加する選手(学校対抗出場者)の服装は、ユニフォーム又は競技時のものとする。